

平成15年6月24日
原子力安全対策課
(15-32)
<15時記者発表>

敦賀発電所1号機の定期検査状況について
(主給水逆止弁構成部品の紛失)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所1号機(沸騰水型軽水炉;定格電気出力35.7万kW)は、平成15年6月14日から第28回定期検査を実施中であるが、6月23日、格納容器内に設置されている主給水逆止弁^{*1}の分解点検を実施していたところ、弁本体を支える弁軸の両端に取り付けられている2個のワッシャー(直径56mm、内径32.5mmのリング状、ステンレス製)のうち、片方が紛失していることを確認した。

また、残っていたワッシャーの内側およびワッシャーと接する軸表面2箇所が摩耗減肉していることを確認した。

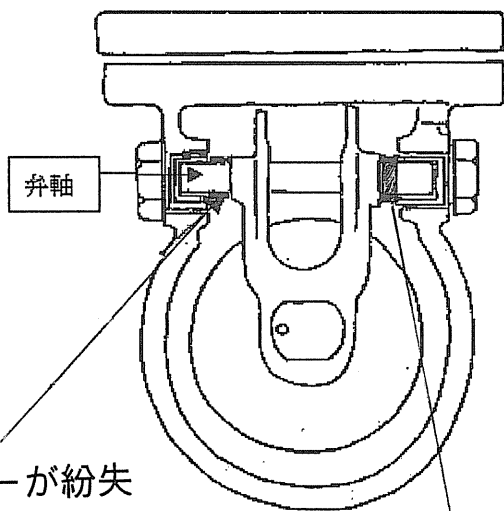
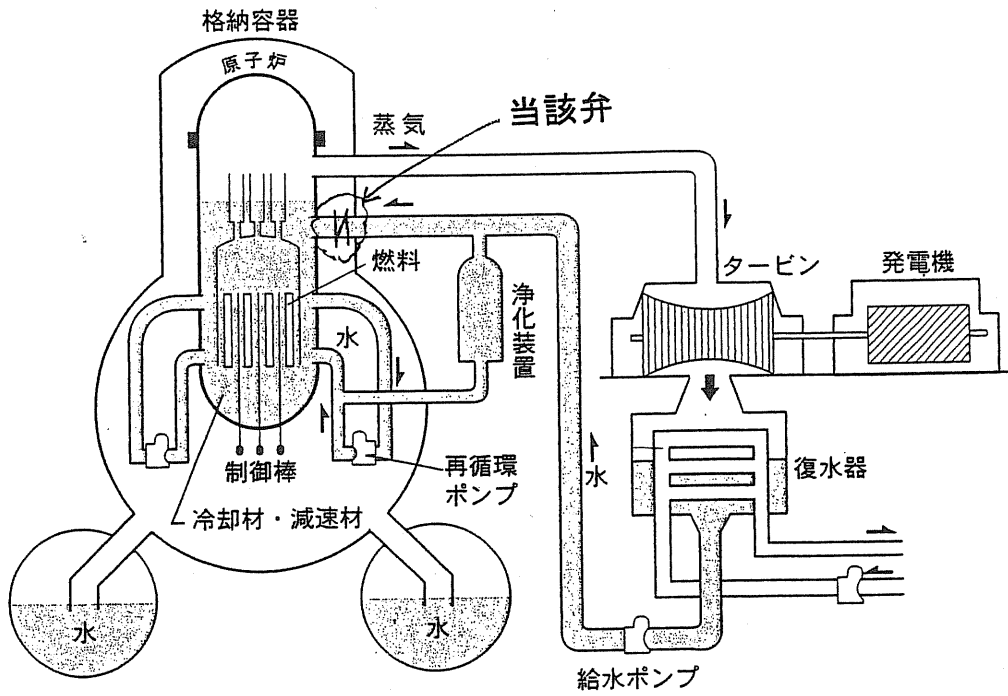
これまでに、当該弁近傍の主給水配管内の目視点検を行ったが、紛失したワッシャーは発見されていない。今後、範囲を拡大し紛失したワッシャーの調査を行う。

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

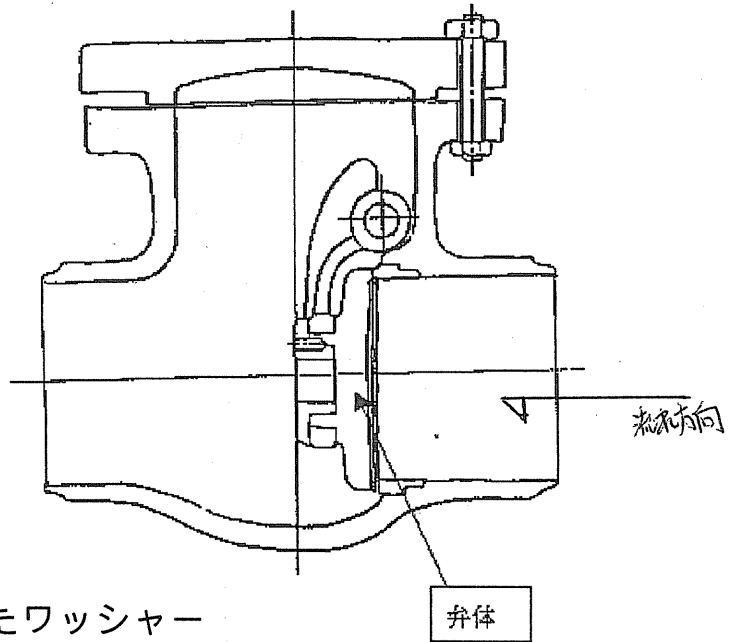
*1: 給水逆止弁

原子炉圧力容器に送られる冷却材(給水)が流れる配管に取り付けられた弁で、給水の逆流を防ぐ機能を持つ。

問い合わせ先(担当:小西)
内線2354・直通0776(20)0314

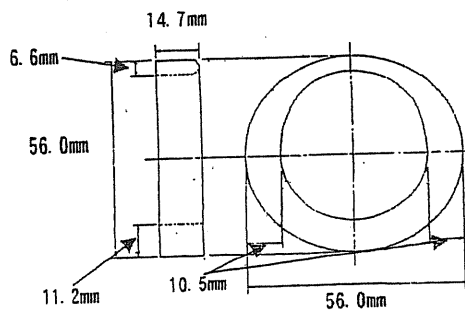


ワッシャーが紛失

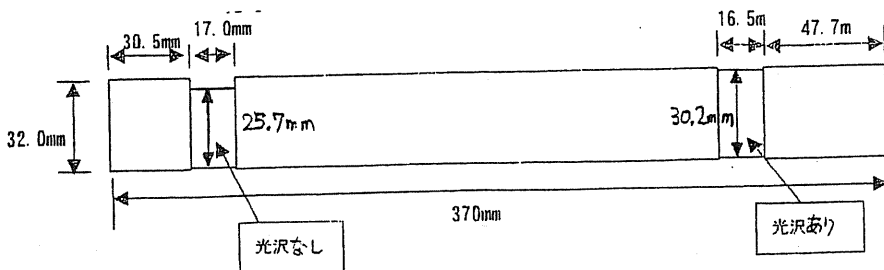


残ったワッシャー

弁体



ワッシャー
 外径 56.0mm
 内径 32.5mm



弁軸